

リコーグループの 資源循環に 関する取り組み

＜本日のご説明事項＞

- ・サステナビリティに関する取り組み方針
コミットサークル、環境経営、ESGと事業成長の同軸化
- ・取り組みのご紹介
事例 1：複合機 再生ビジネス化への取り組み
事例 2：デジタルサービスを活用した地域連携による
再資源への取り組み

2025年10月30日
株式会社リコー
ESG戦略部 ESGセンター
環境推進室 室長

江藤一弘

循環型社会実現のコンセプト：コメットサークル™

- 1994年制定以来、コメットサークル™をコンセプトに循環型社会の実現を目指し活動
- リコーグループの領域を超えて連携、ライフサイクル全体で環境負荷を減らす考え

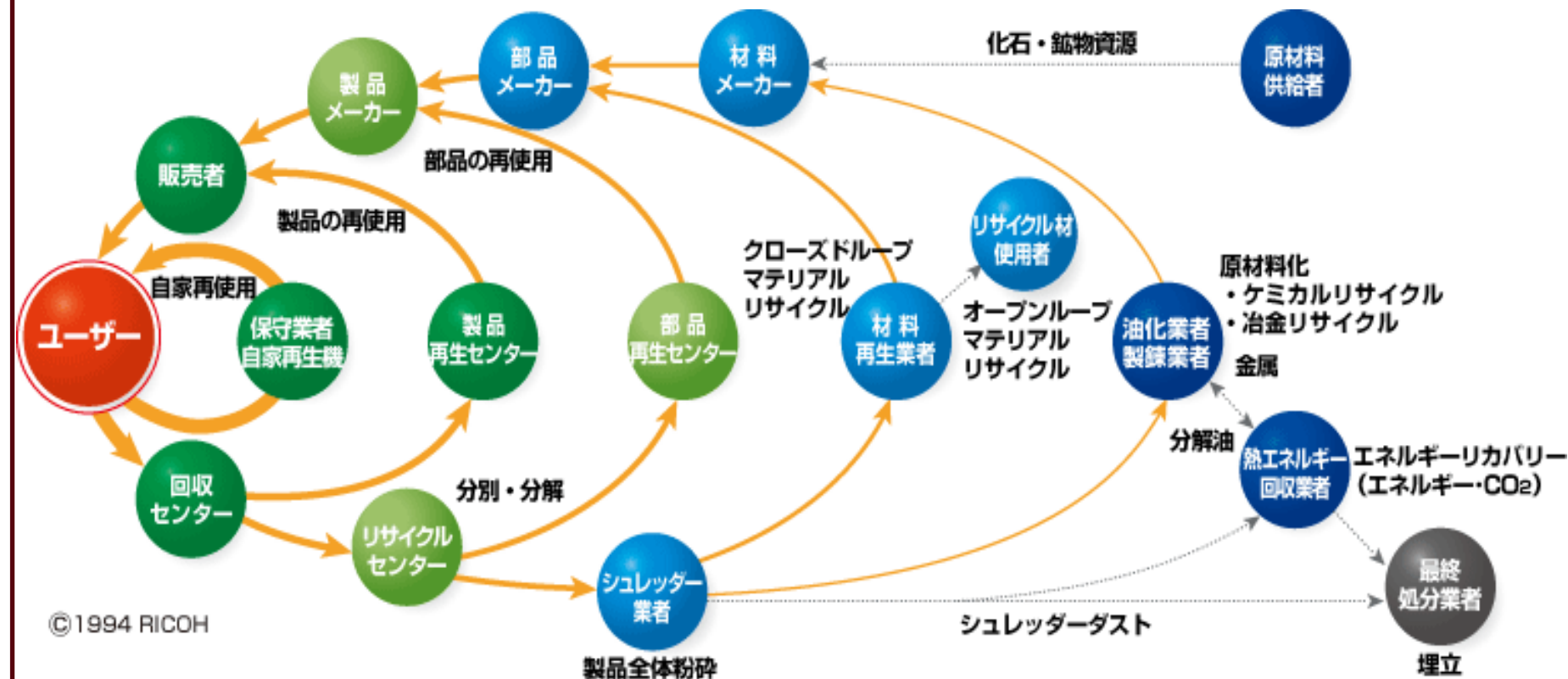
コメットサークルのコンセプトに基づく
4つの行動指針

① ライフサイクル視点での
環境負荷把握と削減

② より環境負荷の小さい
リユース・リサイクルの実践

③ 循環型ビジネスモデル
の確立

④ ステークホルダーとの
パートナーシップ（連携）



“ライフサイクル視点”、“ビジネス” “連携”など、国の取り組み合致

- ・1998年、当時社長の桜井が先駆けて提唱し、以来環境活動の礎に
 - ・環境経営＝「環境保全と利益創出の同時実現」
- 環境保全と経済成長はトレードオフの関係ではなく、長期的な視点で取り組むことにより事業成長や企業価値向上につながるとの考え方



再生ビジネスドライブの原動力にもなっている



5代目社長
桜井正光

持続可能な社会の実現に寄与しながら、**自社も持続的に成長**する



将来財務=今から取り組むことで3～10年後の財務に好影響を与える活動

2023年からの21次中期経営戦略で16の全社ESG目標を設定、役員報酬にも連動
更なる経営との一体化へ

複合機 再生ビジネス化への取り組み

複合機の再生ビジネス

複合機の再使用、再生

サプライ（トナーカートリッジ）の再生、パーツの再生・再使用

RICOH
imagine. change.

‘90年代より方針や基準を策定し事業のベース作りを進め、パートナー連携・IT活用・技術開発で収益性を向上、グローバルで300億円規模まで事業拡大

再生機

再生サプライ

再生パーツ

事業の状況

1990

2000

2010

2020

事業のベースづくり

事業収益性の向上

地産地消に基づく事業展開

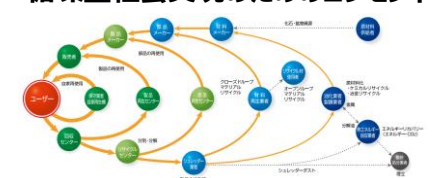
‘93年 リサイクル対応法設計方針策定

※現在の環境適合設計方針
製品設計段階でリユース、リサイクル、
長期 使用の視点を織り込む



‘94年 コメットサークル™ 策定

循環型社会実現のためのコンセプト



‘99年 回収品選別基準書 運用標準策定

回収方法や回収時の選別基準を明確化

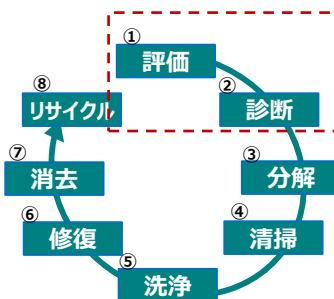


回収・再生拠点網の整備

回収センターを全国22拠点、再生/リサイクルセンターを全国8拠点
に配置し輸送・作業を効率化
業界連携により“共同輸送システム”、“回収機交換システム”を運用し効率化

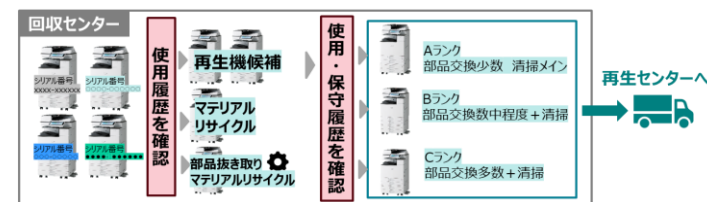
再生8つの技術の確立

再生事業におけるQCD最適化のために8つの技術を確立し再生業務を効率化



＜事例：評価・診断技術＞

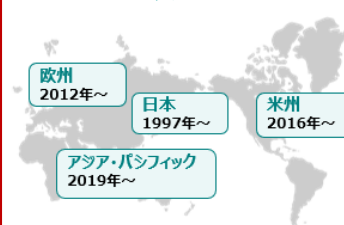
回収機器の使用/保守履歴データから回収機を再生用途
に層別、無駄な輸送や作業を排除しコスト削減



回収機管理システム構築

回収台数予測や稼働情報に基づく生産・販売計画で事業運営を効率化

グローバルへ事業を拡大



事業規模

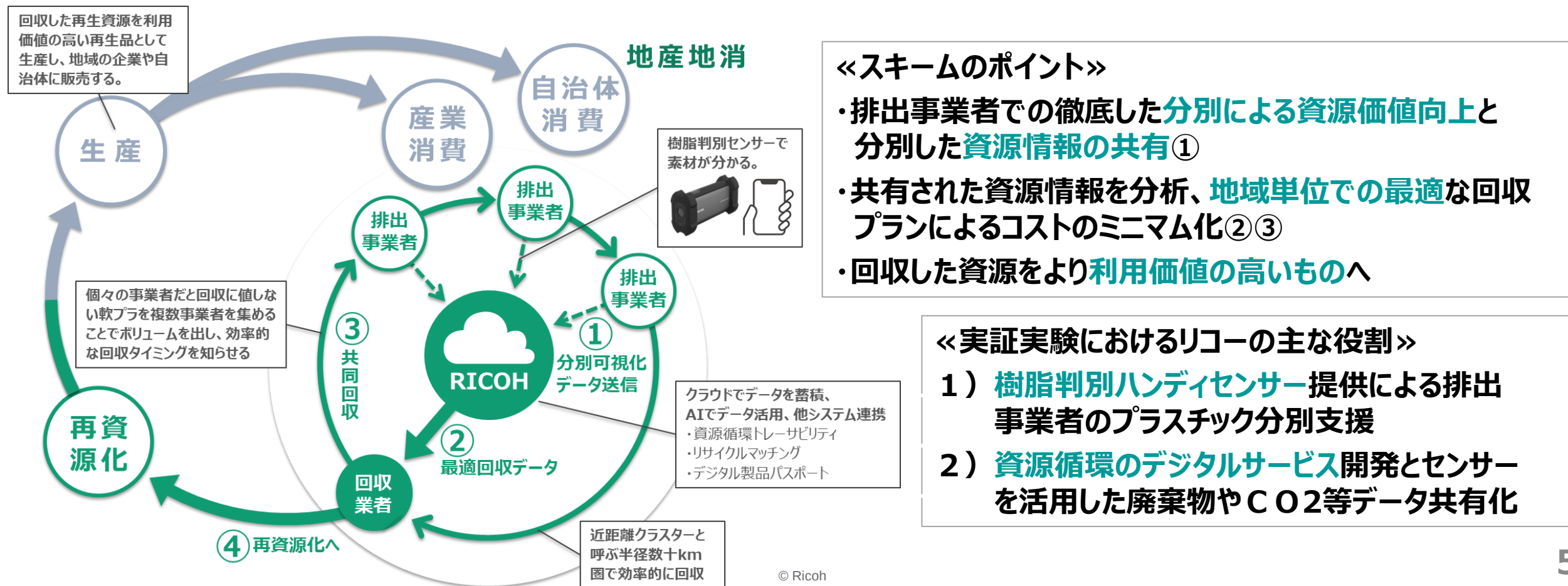
売上 **300**億円 (WW)

販売台数 **5**万台 (WW)
(2023年度実績)

デジタルサービスを活用した地域連携による再資源化への取り組み

- 地域の排出事業者・回収/処理業者・リサイクラーが連携して廃プラスチックのリサイクルスキームの実証実験を愛知県瀬戸市および静岡県浜松市で開始
- 分別による資源価値向上と情報のデータ化と共有・活用によりビジネス化を目指す

令和6年度脱炭素型循環経済システム構築促進事業



リコーグループの活動をレポートとしてまとめ、開示しています。ご活用いただければ幸いです。

統合報告書



価値創造の全体像を
統合的にご紹介

サステナビリティレポート



ESG戦略、環境・人権分野の取り組み
や実績を含めた情報を開示

気候変動対応と生物多様性保全につ
いては、TCFD/TNFDのフレームワー
クに沿った開示

ESGデータブック



「環境」、「社会」、「ガバナンス」に
関するデータを開示

ご清聴ありがとうございました

RICOH
imagine. change.